

◆会長就任挨拶

この度 FBIA の第 5 代会長に就任しました土井良治です。
森川会長の後を引き継ぎ、最善を尽くしますのでご支援の程
よろしく願いいたします。

さて、私と FBIA の関係は 2012 年に遡ります。

FBIA は同年設立され、同時期に私は経産省の基準認証政策
課長に就任、その後黎明期の FBIA の国際標準化と認証事業
の推進・強化に共に取り組んで来ました。

その後、私自身は、2016 年に住友大阪セメントに籍を移し、
業種柄同社ではファインバブル技術に接することはないのではと

思っておりましたところ、2020 年に総理がカーボンニュートラル（CN）
宣言をして以降、年間 690 万 t の CO₂ を排出する多排出企業の

CN 戦略責任者としての任務が、年々重みを増す中、セメント工場排ガス中の CO₂ を炭酸塩化固定す
る上でファインバブル技術が効果的であることを確認し、ファインバブルを活用する実証システムを研究所
に導入しました。



会長 土井 良治

そのような中、2022 年の FBIA 発足 10 周年記念式典で発足時の関係者の皆様と再会し、
2023 年に FBIA に入会、理事就任を経て、本年 6 月 30 日の会長就任に至っております。

この 14 年間に 4 名の会長の元、FBIA は大きな発展を遂げました。

国際標準化では、当初 5 ヶ国の参加国で始まりましたが、現在、10 ヶ国となり、発行規格数も 37
件、その内 25 件が日本提案となっています。

また、認証制度も 2015 年に登録制度として発足、現在は、ISO 規格に基づく認証となり、認証製品
件数は 71 件に達し社会的認知度も急速に広がっています。

会員数は当初の 25 社から 85 社にまで拡大し、100 社到達を目指しております。

これらの成果は、FBIA 会員の皆様のご努力・ご貢献はもとより、経産省、関係大学、産総研、NITE
等関係機関のご支援・ご協力で初めて達成できたもので、
この機会に改めて御礼申し上げます。

しかし、ファインバブル関連産業の広がりや、まだ多くのポテンシャルを残しており、
今後、第二弾、第三弾のブーストが必要と認識しております。私の代にこの各段ロケットに点火し事業展
開を次の次元に進化させていきたいと考えています。

国際標準化では、海外勢の提案件数の急増を受け、日本としても新規提案を、産業化テーマを軸に産

学連携で進めていきます。

このため、FBIA が設立以来取り組んでいる産学連携体制を更に強化し、理論面、実用技術面双方の力を結集する体制作りを強力に進めていきたいと考えています。特に TC281 の議長を当会発足当初からお力添えいただいている綾理事が務めることとなっており、会を挙げて全面的にバックアップしていく所存です。

認証制度では、制度の認知度向上と利用者の拡大策を強化します。

展示会、イベント等 FBIA 広報のあらゆる場面で認証制度の紹介を行うと共に制度紹介情報の充実を図ります。

海外からの認証依頼の増加にも対応し、FBIA の国際展開も今後の重要課題と認識しています。

また、計測器認証や認証製品使用者マーク等新たな認証関連制度の創設も検討し、守備範囲拡大に取り組んでいきます。

これら事業拡大と市場拡大には、産学官の連携が不可欠です。

今後、産業界、学界、官界全ての方々のお知恵を今以上に結集して、

FBIA の一層の発展に取り組んで行きたいと考えていますので、

関係者の皆様の引き続きのご支援、ご協力をお願いし、私の会長就任のご挨拶とさせていただきます。

2026 年 6 月 30 日 （一社）ファインバブル産業会 会長 土井 良治